

「新たな観光の核づくり等促進交付金」による事業について

(単位：千円)

市町名	採択事業名	事業実施主体	交付決定額
南足柄市	未病いやしの里づくり<足柄千年古道整備等>	南足柄市	4,000
真鶴町	未病を治す町「真鶴」 海BASE	真鶴町	20,000
湯河原町	県西のいにしえのみちを歩く～薬膳 &温泉泥で未病の旅	湯河原町商工会 南足柄市商工会 山北町商工会 真鶴町商工会	8,000

真鶴里海 BASE

(真鶴町産業観光活性化センター)

■施設概要

名称： 真鶴里海 BASE (まなづる さとうみベース)

所在地： 真鶴町真鶴 894-1 他

所有者： 真鶴町

所管課： 産業観光課

開館予定： 平成26年12月

事業方式： 公設民営

年間集客数 (見込み)： 37,000人

(水産物販売 20,000人 水産加工体験 1,300人 釣具レンタル 600人
観光インフォメーション 15,100人)

事業方針： 「町の駅ー真鶴駅」から真鶴半島先端にある首都圏最大級の魚つき林「森の駅ーお林」へと続く道を、高齢者が元気な町、真鶴町のライフスタイルを体感する「未病を治す道」として拓く。その拠点 (BASE) として、真鶴町の再生に向けた経済波及効果を生み出す施設を整備する。

真鶴生活を体験、笑顔の交流！

海と共生してきた町 真鶴を体験する「食の駅」として、産業観光活性化センター「里海 BASE」を整備する。鮮魚販売を代表とする「食」を提供し、干物づくりや釣りといった「仕事」や「遊び」の体験、チャレンジショップや朝市による新商品開発で「新しい真鶴」との出会い、交流サロンで来訪者と町民が笑顔でふれあう場を創出する。

オール真鶴による運営！

施設は、多様な主体が参画するオール真鶴体制を構築し運営する。鮮魚販売スペースは漁業協同組合や水産加工組合等の地元生産団体へ施設を貸付し、加工体験スペースやチャレンジショップも町民グループ等含め幅広く利用を呼びかける。絶えず運営に参画する主体が循環し、運営者同士が交流する仕組みも整備する。

波及効果施設！

施設自体の収益効果のみではなく、体験観光や水産物販売機能による「水産業の振興」、チャレンジショップによる「新商品開発・新規起業の誘発」、また、釣り具レンタルサービスで得た釣果を町内飲食店で食するサービス事業、そして、当該施設を拠点に隣接商店街や飲食店・町民活動を巻き込んだ本物志向の観光に対応した“常設朝市の創出”といった「消費の拡大」を目指した様々な派生事業も創出していきます。

※朝市集客数 (見込み) 30,000人/年間 (500人×5回/月×12か月)

■事業費

総事業費 44,817,000円

補助金 神奈川県 新たな観光の核づくり等促進交付金 20,000,000円

交付金 8,800,000円

■主要施設

敷地面積：683.59㎡ 建物総床面積：523.56㎡



新たな観光の核づくり等促進交付金事業
県西いにしへの道を歩く～薬膳&温泉泥で未病の旅

湯河原町

1 事業概要

「温養道」による現代版湯治プランを県西地域で提供するためのインフラ整備として、次のソフト面の開発等を行う。

- ・温：数回の施術で湯治効果が得られる「温泉泥（ファンゴ）」の開発及びエビデンスの取得を湯河原温泉で行う。
- ・養：県西地域の薬草を用いた薬膳食の開発及び学術的な側面からの評価を行う。
- ・道：古道、セラピーロード等を活用する。（補助対象外）

また、温養道を実践する「滞在健康プラン」のコーディネートを行う。

2 事業主体

湯河原町商工会、南足柄市商工会、山北町商工会、真鶴町商工会

3 進捗状況

○全体計画

- 8月 ・ 1市3町の商工会及び役所との情報共有、協力体制の確認
- ・ 1市3町の商工会との情報共有、経過報告、勉強会の開催<第1回>
- 10月 ・ 1市3町の商工会との情報共有、経過報告、勉強会の開催<第2回>(予定)
- 12月 ・ 先進温泉療養地(大分県竹田市・長湯温泉)の視察(予定) ※補助対象外
- 1月 ・ 1市3町の商工会との情報共有、経過報告、勉強会の開催<第3回>(予定)
- 3月 ・ 1市3町の商工会との情報共有、最終報告、勉強会の開催<第4回>(予定)
- ・ 全体報告書の作成

○温泉泥

- 8月 ・ 高知大学(弘田研究室)と健康測定の実験計画の協議(第1回)
- ・ 湯河原町と実験参加者の協議
- ・ 真鶴町の小松石粉末(地域資源の活用)について協議
- 9月 ・ 湯河原温泉(ひばり荘)に温泉泥プラント設置及び試作開始
- 10月 ・ 高知大学(弘田研究室)と健康測定の実験計画の協議(第2回)
- ・ 中川温泉(信玄館)に温泉泥プラント設置及び試作開始(予定)
- 11月 ・ 高知大学(弘田研究室)による1市3町の活用地域資源の視察(予定)
- ・ 町民30人を対象に湯河原温泉泥の健康測定実験開始(計180回)(予定)
- 3月 ・ 高知大学による健康測定分析、評価、滞在健康プラン報告書の作成(予定)
- ・ 温泉泥開発報告書作成(予定)

○薬膳料理

- 9月 ・ 慶応大学(渡辺教授)と協議
- 11月 ・ 薬膳料理の開発開始(予定)
- 3月 ・ 分析、評価、報告書作成(予定)